

市川市子ども会育成会だより

# ふれあい

2010  
83号

平成22年11月

- 子ども会の行事報告
- リーダー研修夏季キャンプ



ジュニアリーダー初級講習会（わんぱくセミナー）冒険キャンプ  
「ウォークラリーのゴール地点で出迎えてくれたチーバ君と」

8月24日～26日 少年自然の家

検索クリックしてね

市子育連ホームページ <http://www.ai-chamu.jp> 



# 子どもキャンプでみんなの力をこました

## 6地区

### はじめていったたけのこ畑

南八幡3丁目子ども会

4年 元木 茉那

わたしは6地区ではじめてたけのこほりにいきました。

たけのこ畑はなしえんとくり畑もあって、とっても広い所です。

はんごとでほり、お母さん達、中学生のお兄ちゃんがくわでほりました。

みんなたけのこは、ふといけど一つだけほそいがありました。

じゃんけんにかつて二本もりました。一本は、おばあちゃんに送りました。

たのしかったのでこんどは家族で行きたいです。

### 大町で竹の子掘り

コープ野村なかよし子ども会

育成会 古屋 美香

4月18日第6地区の竹の子

掘りが行なわれました。

前日までの雨の影響を心配しながら重装備(?)で参加した子ども達。

最初は他の子ども会から来ている者同士の緊張が漂っていました。現地に着いて班分け。

高学年は班長を任命され、普段は長というものを受けなさそうな子どもも自然と下の子の面倒をみて、刃物への注意を呼びかけ、掘り方の作戦を練って…。

帰りには、糠と茹で方の説明書付きで掘りたての竹の子をお土産に、ホクホクの子ども達でした。



## 8地区

### 少年自然の家にとまて

若潮子ども会

4年 中田 絵里

そうめん流しは長い竹を切つて、それから竹を半分に切るのが大人の人達が大変だった。

竹にはふしと言う物があった。それをけずるのはもつともつと大変だったみたいでした。

長い竹を組み立てて、そうめん流しのだいが完成して、水といっしょに流れてきたそうめんをすくって食べたのが、とてもおいしかったです。

### 「そうめん流し」を体験

上町子ども会

育成会 長谷川 裕子

第8地区子ども会では恒例行事として、毎年柏井キャンプ場でのデイキャンプと少年自然の家宿泊体験を交互に行



っています。

今年6月5日(土)〜6日(日)に宿泊体験をいたしました。

今回はじめて「そうめん流し」を計画しました。竹を切り出す事から始まり、とことん自然にこだわりました。

そうめんを流す樋も、つゆを入れる器も竹で作りました。子ども達に手作りのよさが届いたでしょうか？

### 平田子ども会

### キャンプの時のびかり

平田子ども会

6年 和田 睦生

7月24・25日に、工業高校

でキャンプをしました。

一日目は、お昼ご飯を作ることから始めました。炭に火をおこすのが、大変だったけど、おこした炭でバーベキューをして、楽しかった。お昼ご飯を食べ終わったら、つぎの行動まで時間がたくさんあるので、自由行動になりました。

たくさん遊んだら、こんどは工業高校で「エコスイッチ」というものをつくりました。

「エコスイッチ」は、太陽の光がセンサーに反応してライトがひかります。そして、光っていると太陽の光でも十分明るいということをおしえてくれます。それを作るのは大変だったけど、楽しかったです。

「エコスイッチ作り」が終わったらテントはりになりました。テントはりの場所は風が強いので、いろいろ場所を変えました。

そして、そのあと銭湯にいきました。銭湯で疲れをいやしたら、キャンプ場にもどって、夜ご飯ができていたので、夜ご飯も食べました。



そして、デザートにフルーツポンチを食べました。二つともおいしかったです。

そして、食べたあとは花火をやりました。花火が終わると就寝の時間になりました。でも夜はあまりねむれず、3時間しかねれませんでした。

そして、二日目の朝にホットドッグと焼きおにぎりを食べました。そのあと食べたら、自由行動になりました。

自由行動のあとは、平田小のビオトープでカダヤシをつかまえたり、トンボをつかまえたりできておもしろかったです。その後、工業高校へ行って解散しました。

キャンプはけっこうおもしろかったです。



## 夏のお楽しみ会について

平田子ども会

育成会 藤崎 弘子

私は今年から子ども会育成会員になりました。いろんなイベントや、地域の集まりなどに参加し、生まれてからずっと住んでいる場所ですが、

初めて知ることがたくさんあり、毎回とても楽しみにしています。今回のお楽しみ会もその一つ。

炎天下でのバーベキューは、大人の「暑い！」の声とは裏腹に、子ども達は食欲もありとても楽しそうにしていました。

そして工業高校内で行われたエコスイッチ制作では、ちょっと危なっかしい手つきでハンダづけをしていました。どんどん自分でできてしまう子、先生に教わりながら少しずつやる子、「できない！」といいながら先生に手伝ってもらいながらできた子。工業高校の生徒さんもとてども丁寧に優しく教えてくださり、全員のエコスイッチができました。

夜は空き缶を飯ごうにしてご飯を炊いたカレーライス。夏バテ知らずなんだなあ：と思うほど、みんなたくさん

食べてくれました。テントの中は「蚊がいる！」「虫がいる！」などなど悲鳴が多々あり、なかなか寝付けない男の子グループは、真夜中に小さな会議を開いていたり：見回りをしている子がいりたり：。いろんなタイプの子がいるんだなあ、改めて感じました。



二日目は、平田小内にあるビオトープで、虫やメダカなどの生態についての勉強をしました。連日の炎天下にも関わらず、必死になってメダカ取りをしていました。

学校の中で、バーベキューをしたり花火をしたりテントを張って寝たりする経験はこれから先の人生でも、そうそうあることではないのでは？と思います。

子どもたちだけでなく、私自身の楽しい夏の思い出になりました。

今回のような貴重な経験を、これからもたくさん計画し、たくさん子どもたちの笑顔を見ていきたいと思いま



# ハゼ釣り大会

優勝は 加藤 碧留君

記録的な猛暑に見舞われた今年の夏でしたが、「市川市子ども会育成会連絡協議会」主催のハゼ釣り大会が8月1日(日)、28子ども会から子ども115名、大人72名の参加で盛大に行われました。今年も受付、計測などで時間短縮の新しい試みもなされました。貸し竿をありますので、来年はあなたも参加しませんか？



順位	子ども会名	学年	氏名	数・大きさ
優勝	中山団地子ども会	2年	加藤 碧留	25匹
2位	国府台子ども会	1年	小暮 健人	23匹
3位	国府台子ども会	4年	小暮 優人	16匹
大物賞	田尻子ども会	4年	松井 隆喜	11cm
外道賞	中山子ども会	3年	新井 隼太	ふぐ1

順位	子ども会名	氏名	数・大きさ
優勝	国府台子ども会	大橋 悟史	14匹
2位	国府台子ども会	小暮 康則	12匹
3位	須和田1丁目子ども会	絹川 世紀	11匹
3位	本塩子ども会	日下 弘	11匹
大物賞	国府台子ども会	小暮 康則	10cm
大物賞	須和田1丁目子ども会	絹川 西紀	10cm
大物賞	本塩子ども会	日下 弘	10cm
外道賞	柏井3丁目団地虹	遠藤 広明	ぼらの子1



# わんぱくセミナー



## 体験記

わんぱくセミナーは小学5・6年生を対象としたジュニアリーダー初級講習会です

### わんぱくセミナーの感想

関根 太郎

平成22年8月24日にわんぱくセミナー冒険キャンプに行きました。

キャンプに行く前、楽しみにしていたことがあります。それはクッキングコンテストで棒パンを作ることです。なぜなら棒パンを作るアイデアは、ぼくのアイデアをみんながみとめ採用してくれたからです。

クッキングコンテストでは棒パンのほかにそうめんを作りました。

そうめんを作るときまきを使つてめんをゆでたため、火かげんがむずかしく、そうめんをゆですぎてしまい、ベトベトになり、スライムのような感じでしたが、お腹がすいていたのでそんなスライムもうめんでもおいしかったです。

いよいよ棒パンを作ることになりました。ホットケーキの素と小麦粉に牛乳を入れてよくこねた後、棒にまきつけて焼くのですが、牛乳を入れすぎてしまったので棒にまき

つけることができなくて、つきよくホットケーキのようになりフライパンで焼きました。

ぼくの思っていた棒パンとは別の物になってしまい、ざんねんでしたが意外と味はふわふわしていて本物のパンのようでもおいしかったです。それと、テントをはってその中で夜、ねぶくろにくるまつてねたのが、森の中にすむやまねの気持ちかわかるようにいい気持ちでした。

今回のわんぱくセミナーでふだんとはちがう体験ができて、ごはんを食べたり、ねたりするあたり前のことがキャンプになるとむずかしかったです。楽しかったりすることを感じてとてもよかったです。



### わんぱくセミナー冒険キャンプ

佐藤 理奈

8月24日から26日まで大町少年自然の家でキャンプをしました。

8月24日キャンプ最初の日、入村式をしました。8月24日で一番心に残ったことは野外炊事と就寝です。野外炊事では、チームごとでカレーライスをつくりました。私は野菜などを切りました。就寝ではなかなかねつけなく、ねたのは深夜二時ぐらいでした。

8月25日、テント撤収をしました。この日一番心に残ったのは、ウォークラリーとクッキングコンテストです。ウォークラリーはとてもつかれたけれど、とても楽しかったです。クッキングコンテストでは、タコライスとパンピキンスープを作りました。タコライスは色とりどりに仕上げました。パンピキンスープはかぼちゃの中身をくりぬきお皿にしました。くりぬいた中身はつぶしスープにしました。クッキングコンテストの結果はみごとゆう勝しまし

た。とてもうれしかったです。

8月26日、キャンプ最後の日がありました。ちよつとさみしかったけどチームの人にさよならをして帰りました。とてもよかったのでした。

### 冒険キャンプに参加して

山下 健太

ぼくが、わんぱくセミナーの冒険キャンプを漢字一文字で表すとしたら、「活」です。このキャンプでは、ぼくもみんなも活き活きと、活発に活動していました。

ウォークラリーでは、たくさん歩いてとてもつかれたけど、がんばって、みんな協力して、最後まで歩ききれました。みんなといっぱい話ができたと、とても楽しかったです。野外ゲームでは、色々なゲームを思いっきり楽しめました。それと、このキャンプで、生活するために必要なことができるようになったからです。野外炊事では、火をおこすための薪わりからご飯を作ったり、いつもはできないこともたくさんできて、とても楽



しかったです。

クッキングコンテストでは、みんなでメニューを考えて、みんなで材料を買ってきて、みんなで作った料理を食べ、とてもおいしかったです。来年はもう参加できないのがとても残念です。



## わんぱくセミナー冒険キャンプ

松井 希梨

私は、2泊3日で少年自然の家に泊まりました。

そこでは、野外炊事をしたり、ウォークラリーをしたりキャンプファイアーをしたりしました。

野外炊事では、初めてのカレー作りだったので作り方がまったくわからなかったけ

ど、班つきリーダーさんが教えてくれたのですごく作りやすかったです。

私はタマネギを切ったので、すぐく目にしみていたかったです。

ウォークラリーの時は小指に水ぶくれができてすごく歩く時にいたかったです。

すぐく暑かったのですがそのあとのかき氷がすごくおいしく感じました。

クッキングコンテストの時は、かまどで火をたいたりまきわりをやったりしました。

まきわりの時はかたくて、わろうとしてもわれなくてとても大変でした。

キャンプファイアーの時にやったスタンツで問題を考えるのがすごくむずかしかったです。

2日目は少年自然の家に泊まったのですが、ねむりやすかったです。

3日目の朝食にでたグレープゼリーがおいしくてもっといっぱい食べたかったです。

じゃんけんの時はほとんど負けてしまったので次は、勝ちたいです。

水でつぼうで遊んだ時はや

ぶれはしなかったけれど同じチームの人に水をかけられてびしょびしょになりました。

泊まる前は2泊3日なんて長いなあ〜と思っていただけけれど、泊まってみたら2泊3日が1日に思えてとても退村式の時はかなしくなりました。

でもこのわんぱくセミナー冒険キャンプにいつてよかったです〜と思っています。

私は、このわんぱくセミナーを来年もさ来年もずっとずっと続けていきたいです。

このわんぱくセミナー冒険キャンプのことは、永遠に私の心に残ることでしょう。

## 冒険キャンプ2010!!

小池 峻太

待ちに待った冒険キャンプ。今年は何があるのかと楽しみに大町へむかいました。

まずは、1日目一番思い出に残ったのはカレー作りでしたが：テントの中だった気もします。ふとんに入りながら仲間と雑談をし、寝たのは午前4時でした。(もう2日目に入ってる…)

そして、2日目半日かけたウォークラリー大変でした：。キャンプファイアーは、一人がふざけてどっかに行き(仮名えのきさん) 大変だっ

たらしいですが、その日起きたのが5時です。みんな時間は1時間(もはやすいみんではなく仮眠だ…)だったので、キャンプファイアーのきおくがあまりありませんでした。(でもヴァン・ヘルシンという人のくれた永遠の火のプレゼントはしっかりとおぼえてる)

他にも、3日目ゲーム大会では、水鉄砲戦争ゲームが面白かったです。(ぼくは特攻隊でまさかの玉砕でした…)

しかもぼくたちのチームはみごと勝利：最高でした。

こんな感じで波乱万丈の2泊3日は過ぎ、終わってしまっています、別れのハンバーガーを食べ自宅に帰りました。

そして来年も行きたいな〜と思っていました。OH! NOだ。ぼくはもう六年生。来年はもう中学生：参加できません△。でも大変楽しい思い出も作れたのでまあいいか〜ということでした。バイバイ。楽しかったです。バイバイ。





# ジュニアリーダー講習会・ヤングカルチャースクール 合同トレーニングキャンプ

ジュニアリーダー講習会は中学生、ヤングカルチャースクールは高校生を対象としたジュニアリーダー中級・上級の講習会です。



## 合同トレーニングキャンプ を終えて

講師 鈴木かなえ

「ジュニアリーダー講習会・ヤングカルチャースクール合同トレーニングキャンプ2010」は、8月3日(火)から6日(金)まで福島県の国立那須甲子青少年の家で行われました。

中学生40名と高校生10名の受講でその他に、社会人・大学生ボランティアリーダー8名、子ども会育成会連絡協議会(市子育連)や教育委員会の方々10名のスタッフが同行

し、男女比は各ほぼ半々で、幅広い年齢層の集団生活が営まれました。それでも皆さんに共通していたのは、いつでもどんなことにも一生懸命な姿勢でした。

自分たちで活動を生み出す力と、元気に動く意欲に満ちた人々が集まるのは、このキャンプの伝統なのでしょう。か、それとも、今年だけの特徴だったのでしょうか。

まず、行きのバスの中、ボランティアリーダーたちが、歌やゲーム指導をしてくれたときのことです。♪キャンピングに来る人たちの、なくまえを覚えましょうと、歌いながら一人ずつ増やしながら名前を暗唱しました。最後の人が、40回目になるリピートで乗員全員の名前を暗唱し、ゲームが完了するまで、歌が消えぬよう声を張り上げ続けた高校生たちがいました。

高校生とリーダーには、このキャンプを自分たちが盛り立てるのだという自覚が表れていました。目下の子どもにとっても優しいリーダーシップが、身につけていました。

初日は、タープを張ったり野外炊事をしたり、お互いを知ってもらうために、班ごとの活動が中心でした。

各班は男女混合で、数人の中学生と、1〜2人の高校生(カウンセラー)が付いていました。

その後、2日目の午前中のお好みプログラムで、6つのプログラム(ハイキング、沢歩き、魚つかみ、竹とんぼ作り、焼き板作り、歌作り)の中から、各自が好きなことを選び、班をいったん解散しました。この解散は、ひとときのリフレッシュが目的で、その後のイニシアティブゲームを皮切りに班活動に戻り、三日目の登山に向けて、結束を固めてもらいました。

その結果、登山は、班ごとに安全に終えることができました。全員そろって登頂できた班ばかりではありませんでしたが、どの班も、お互いを気遣い、励まし合いながら頂上を目指して歩いていました。

大人でも、つらくて泣きそうになる長く急な上り道を全員が乗り越えていけたのは、子ども自身の頑張り、中学生を激励し続けたカウンセラーの責任感と、各班に付いたリーダーの安全管理のおかげでした。

みんなの笑顔が、日々の中でふっふっふと脳裏によみがえることがあります。自分の頭





## 子どもたちの未来に向けて

市川市教育委員会生涯学習部 青少年育成課長 安部 幸弘

本年4月に青少年育成課長に着任いたしました、安部と申します。日頃から市川市子ども会育成会の皆様には、単位子ども会を始めとし、各地区連絡協議会、そして市川市子ども会育成会連絡協議会全体として、様々な活動や行事を通して子どもたちの健全育成事業にご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

もう40年以上も昔の話になりますが、私にとって子ども会と言うと、まず思い出すのが夏休みのラジオ体操です。眠い目を擦りながら近くの神社に集まると、既に役員？の方々が準備を済ませ子ども達を迎えてくれました。また、野球の練習や対外試合でも大変お世話になりました。

その頃は、「ただ大人の人達が世話をしてくれてる」としか感じていませんでしたが、ここにきて改めて、育成会の皆さんのご苦労のほんの一端を知ることができたような気がいたします。

お忙しい中、仕事の後や、せっかくの休日などを使い、夜遅くまで会議や打合せ等々、陰になり日向になり、将来を担う子ども達のために奔走されている方々に、深く感謝いたしますとともに、同じ市川市民として大変心強く感じております。そして何よりも、現場では子ども達同様に、時には子ども達以上に目を輝かせて活動を支えてくださっている姿に、ただただ敬服するばかりです。

市川市教育委員会では、「つながり」をキーワードとして、人と人、人と自然、人と社会とのつながりを大切にし、家庭・学校・地域・行政の、連携・協力を進め、多くの手で支えあう教育、そして、未来へつなぐ教育に取組んでいます。

今後とも市川市子ども会育成会連絡協議会の皆様方による、より一層の支え合いのもと、子ども達の未来につながる活動促進のお手伝いができればと考えております。

や心の中には、みんなが住んでいる」と気づき、私まで今身近にいる人々に優しくなれます。

活動の進行は、全体を通して、大学生リーダーに担当してもらいました。どのような進めるか、各活動（歓迎会、お好みプログラムの報告会、イニシアティブゲーム、クッキングコンテスト、キャンプファイヤー）をどんな筋書きにするか、頭を突き合わせて計画を練っていました。

ピザ作りとそば打ちは、社会人リーダーが講師を引き受けてくれて、まめまめしく、もくもくと事前準備をしている様子は、頼もしい限りでした。彼・彼女たちは、誰かに言われて仕方なくではなく、とても自然に、一見、どうしてそこまで？と思うほど、一生懸命でした。楽しそうに見えました。

かつて、自分たちのためにそうしてくれた人たちがいて、その姿が、よほど強く記憶に残っているのでしょうか。みんなの頭や心の中にも、キャンプの仲間達が住んで

いる」に違いありません。

市子育連の方々は、熱中症予防の麦茶作りや、各活動で目配りをして、キャンプ全体を支えていました。キャンプ場の生活は、不便が多く、工夫するチャンスがゴロゴロ転がっています。私たちは、こうしよう、ああしよう、と協力しながら試行錯誤を繰り返すうちに、自分達から順応して環境や自然に歩み寄っていきます。それを見守っていたのは市子育連の方々でした。見守ってもらっている安心感が、活動に没頭する集中力を受講者やその他のスタッフから引き出してくれたように思います。

様々な人が集まっている地域の生活は、みんなが力を出し合って楽しいキャンプを作るのと似ています。この4日間を振り返ってみて、市川市のキャンプには、優しいリーダー達を育てる環境が完備されていて、人から人へと引き継がれているんだなあと思いました。

## 編集後記

石井会長の新体制になってから二号目の発行となりました。いろいろな事業や役員の方たちの動き方も「新」体制が見えてきているような中、広報部もホームページを含め、メンバー一同新しい形を進めるように動き出しました。

皆さんの声を聞きながら、市子育連の会員相互の情報提供をはじめ、より多くの方たちにわかりやすく、子ども会の加入促進・拡大にもつながる様な形で、紙面や活動を目指して頑張っていきたいと思っております。 K・I

市川市子ども会育成会だより  
「ふれあい」八十三号

発行 市川市子ども会育成会

連絡協議会

住所 市川市柏井町四一四七二

発行人 石井 克己

編集人 遠藤 淳子

田中 真理子

戸島 加代

川上 みつ子


大林 和彦

稲葉 健二

# 子ども会に入ろう

親子で楽しく活動しませんか？

**主な子ども会の活動**



楽しいイベントがいっぱい!

